

## 事業実績書

事業名		和みプロジェクト めまづ夏祭り 2024
場所		沼津市大手町（沼津駅南口・沼津仲見世商店街・中央公園）、原地区センター
期間		令和6年7月10日～令和6年8月1日
	日程	実施項目・作業項目
事業内容		※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など）
	6/21	沼津市原地区センターにて、和みプロジェクト事前会議…中学生3名+保護者数名
	7/10	採択、補助金交付決定！
	7/11	和みバッグ購入活動開始…同時に「和みシール」の製作を開始する
	7/13	沼津市役所生活環境部様より、ティッシュ500個の贈呈を受ける
	7/16	原町加工紙様より、ペーパーソフトハンカチ1,200個の贈呈を受ける
	7/20	各中学生宅にて、ティッシュやゴミ袋の輪ゴム止めセットづくり(500組)を開始
	7/25, 26	和みバッグ入りの段ボール10箱を仲見世 NVN 臨時事務局に搬入する
	7/27, 28	昼過ぎより、ティッシュ詰め込みを開始し、街頭にて配布活動…6名
	7/28	早朝午前5時より、祭り会場のゴミ状態検証を実施…3名
7/29	早朝午前5時より、祭り会場のゴミ状態検証を実施…2名 午後より、NVN 臨時仲見世事務局より段ボール箱の撤収活動…1名	
8/1	臨時事務局を開設した仲見世商店街会長の赤井様にお礼に伺う…1名	
事業効果		※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。  ◎夏祭り2日間で用意したエコバッグ500個を全て手渡すことができた。 ◎実施時間は午後2時から3時30分の1時間半を目安に来場者へゴミの持ち帰りを呼びかけながらエコバッグを手渡した。（当初2時間の予定でしたが、熱中症予防の為短縮） ◎中学生メンバーの他、まちをキレイにする意識の高い人たちとおこなった。エコバッグを使って下さる人は多くいると感じた。  ◇能登半島地震被災地で活動した中学生が、自分事として災害ゴミについて発想を広げた事は今後の彼らの社会貢献活動の一助となると思いを期待しています。 ◇お祭り会場での中学生たちの活動に、道行く人が感動していたことはわが街沼津に対してのイメージアップ(好印象化)に繋がったことと思います。
◎中学生 江神他 ◇代表者 石川他	※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。  ◎ゴミ拾いをする人は見られたが、持ち帰り用のエコバッグを配る方は、自分達以外には見られなかった。 ◎声掛けする事にあまり自信がなかったが、2日目は反省を活かして、よりたくさんの方が受け取ってくれとてもうれしくなった。 ◎夏祭り後、沼津市内で自分達が配ったエコバッグを使用してくれる人がいてとても感動した。  ◇初日は声掛けのみであったが、2日目は無料配布看板を制作の為500完配が出来、又初活動で認知度がゼロであったのが、継続する事で、ゴミの持ち帰りが当たり前になると感じた。	
自己評価		

今後の活動予定	<p>※ ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>ゴミ処理を考える事で環境についての関心が高まり、地域のゴミも何とかしたいと思う。</p> <p>ティッシュ予算をエコバッグ購入に回した為、2日間で配布できなかったエコバッグは、今後地域での祭りや市内での防災講演会等で、主旨経過を伝えながら配布して、中学生達の発想からの広がりを伝えたい。</p>
---------	--